

区 分	1 結婚に対する取組
個別事業名	高知県結婚支援サポーター応援事業
所要見込額	11,016 千円
各区分における取組の全体像および本個別事業の位置づけ	<p><b>【取組の全体像】</b>          本県においては、少子化対策の「未婚化・晩婚化対策」として、「より多くの独身者の希望を、より早く叶える」よう、「①出会いの機会の拡大・強化」、「②独身者に対するきめ細かな支援の充実」、「③結婚に関する機運の醸成」を柱に取組みを進めている。</p> <p>①出会いの機会の拡大・強化としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村等の実施する出会いの機会を提供するイベントへの助成(H19～)</li> <li>・高知家の出会い・結婚・子育て応援団や県主催によるイベントの開催(H21～)</li> <li>・地域のお世話焼きさんである「婚活サポーター」によるお引合せ(H22～)</li> <li>・会員制のマッチングシステムによる1対1のお引合せ(H28.4～)</li> </ul> <p>②独身者に対するきめ細かな支援の充実では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚支援窓口「こうち出会いサポートセンター」の開設(H28.1～)</li> <li>・独身者のスキルアップ研修の開催(H24～)</li> <li>・マッチングサポーター等による独身者への支援</li> </ul> <p>③結婚に対する機運の醸成では</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応援サイト「高知で恋しよ!!応援サイト」によるメールマガジン自動配信(H26.7～)</li> <li>・県民や高知家の出会い・結婚・子育て応援団への結婚支援事業の広報</li> <li>・結婚応援フォーラムの開催</li> </ul> <p>など、総合的な支援の充実に取り組んでいる。</p> <p><b>【本事業の位置づけ】</b>          平成27年度に実施した県民意識調査では、「安心して結婚・妊娠・出産・子育てできるような社会になっているか」について、「そう思う。ややそう思う」と回答した方は22%にとどまっている状況であり、結婚支援をはじめとする機運は醸成されていない。特に、企業は結婚を希望する世代が生活時間の多くを過ごす場所であるにもかかわらず、その多くは従業員に対して結婚支援を行うことにためらいを感じているといった実情にあり、結婚に対する機運の醸成はまだまだの状況にある。          こうした中、本県において結婚に対する機運の醸成を図っていくためには、本年3月に新たに創設した「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」(以下「応援団」という。)(※)を通じて企業における結婚支援の妥当性の周知を図ると同時に、まずは企業が結婚支援に取り組みやすい環境を整えることが必要であると考えている。          具体的には、企業・団体・自治体等(以下「企業等」という。)に対して、少子化が進行している現状や少子化対策の必要性などと併せて、結婚支援の取組を行っている先行事例を情報発信することで結婚支援の取組についての理解を深めていただくとともに、応援団に加入している企業等の結婚支援サポーター(以下「サポーター」という。)が相互に連携して、それぞれの企業等の独身従業員(非正規職員等を含む。)に対して出会いと交流の場を効率的に提供できる環境を創出したいと考えている。</p> <p>※「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」とは、企業等内で結婚や子育て支援サポーターを配置していただき、具体的に結婚や子育て支援の取組を行っていただく企業等</p> <p>高知県の未婚化・晩婚化の状況  <b>【統計データ】</b>          ○初婚年齢(2015年)男性31.3歳(全国5位)、女性29.7歳(全国3位)          ○婚姻数(2015年)3,057件、出生数5,052人、合計特殊出生率1.50(全国24位)          ○生涯未婚率(2010年)男性22.13%(全国4位)、女性12.4%(全国6位)  <b>【出会いから結婚・子育てまでの切れ目ない支援のための県民意識調査の結果(2015年)】</b>          ○結婚したい(したかった)年齢:男性30.3歳、女性27.9歳          ○結婚を希望する独身者(割合):79.8%          内訳:「すぐにでも結婚したい」10.4%、「5年以内に結婚したい」16.6%、「いずれは結婚したい」52.8%、          ○「結婚していない理由」:1位「適当な相手にめぐり合わない」(44.5%)の他にも「異性とうまく付き合えない」11.6%</p>

	<p>【統計データ及び調査結果より】</p> <p>○高知県では、8割の独身者が結婚を希望し、そのうち3人に1人は出来る限り早く結婚を希望している。</p> <p>○また、結婚を希望する独身者のうち約半数の方は「適当な相手にめぐり会わない」と思っている。</p> <p>○さらに、独身者の中には、「異性とうまく付き合えない」と交際に関する不安を持っていることも伺える</p>
<p>個別事業 内 容</p>	<p>(個別事業の内容)</p> <p>現在、高知県が構築している結婚支援の応援サイト(システム)に、結婚支援サポーターが設置されている企業等の情報をいつでも得られるよう機能拡充を図ることにより、企業等間における独身者の交流を促進する。併せて、サポーターへの活動支援を行うコーディネーターを設置することにより、企業等に対する結婚支援を進める。</p> <p>①結婚支援応援サイトの再構築(企業等間イベント管理機能の追加)と保守管理</p> <p>高知県では、平成26年7月から結婚支援応援サイト「高知で恋しよ!!応援サイト」を開設し、独身者に対するきめ細かな支援を行っている。</p> <p>このサイトは、「高知で恋しよ!!イベント」システムと「高知で恋しよ!!マッチング」システムで構成され、イベントシステムでは、県及び応援団が実施する出会いのイベント(セミナー・交流会)の情報提供、独身者の利用会員登録(無料)、出会いのイベント等への参加申込、メールマガジン配信(イベント情報等)を行っており、この中にイベントを登録・参加者管理する</p> <p>応援団専用システムとイベントでカップルとなった独身者をフォローするカップルサポーター専用システムが組み込まれている。</p> <p>マッチングシステムは、独身者が会員登録(有料)し、お相手検索・閲覧をして、会いたい人を探すシステムとなっている。</p> <p>企業等間交流を簡便な方法で実施するため、このサイトの応援団専用システムに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターが、企業等間交流会を実施する企業を選ぶため、他のサポーターの設置されている企業等の情報をいつでも見られる機能</li> <li>・企業等間交流会を実施する際に、各企業等のサポーターが打合せを直接システムを通じてやり取りすることができる機能</li> <li>・企業等間交流会の告知と参加申込を簡単に行うために、独身者本人がユーザ登録の際に所属企業等のIDを入力すると、直接、参加対象の独身者にお知らせを届ける機能</li> </ul> <p>などを追加する。</p> <p>②結婚支援サポーターへの事業説明会及びセクハラ研修</p> <p>結婚支援サポーターとは、応援団内で独身者の出会い・結婚を支援するサポーターのことであり、企業内の結婚を希望する</p> <p>独身者(非正規職員等を含む。)に婚活イベント情報や県の結婚支援制度を紹介するとともに、企業内や他の企業との交流会(合コン)を開催するなど、企業内独身者の結婚を後押しをする。</p> <p>現状では、選定基準もなく企業からの届出のみとなっており、サポーターとしての活動は実質機能していないが、今後は、県で制度化をし、サポーターとして認定する方向で検討予定である。サポーターは、企業等内の既婚者で、人事又は職員厚生関係部署に所属しており、各企業に顔が利く管理職等の方を想定している。</p> <p>本事業では、企業等における結婚支援への妥当性を浸透させ機運の醸成を図るために、企業等に対し、本事業の目的や内容について説明会を実施し、結婚支援に対する周知・啓発を行うとともに、セクハラに対する理解を深めるための研修を実施する。</p> <p>③結婚支援サポーターへの活動支援を行うコーディネーターの配置等</p> <p>結婚支援サポーターが、企業等内で独身者に対し個別支援を行う上で必要なノウハウや心構えを助言するなど活動支援を行うとともに、企業等間イベントを実施する際には、企業等間の調整、会場確保、イベント実施計画作成などの支援を行うために、コーディネーターを配置する。</p> <p>事業広報としては、結婚支援サポーターに県の結婚支援の取組とその中における本事業の位置付けを理解していただくためにパンフレットを作成する。また、結婚支援サポーターが独身者に対し結婚に向けての意識の醸成を図るためのツールとして、本事業の概要を説明するチラシ、ポスターを作成するとともに、結婚をポジティブに捉えていただくためのイメージ映像(3~5分程度)を作成する。イメージ映像については、結婚支援サポーターの活動ツールだけではなく、他の結婚支援事業にも活用するとともに、①の本県結婚支援応援サイトやホームページへの掲載、県広報番組での放送など広く県民へ周知を図り、県民全体への結婚への機運醸成や意識啓発を図る。</p>

	<p>29年度以降も継続して、コーディネーターを配置し、結婚支援サポーターを増やし、スキルアップを図る(H31年度180人目標)とともに、企業等における独身者の交流会を増やしていく(H31年度累計38回目標)。各企業等において活動内容を検証し、優良事例の横展開を行う。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業： 福井県 職場の縁結び応援事業、愛媛県 地域少子化対策強化事業】</p>
<p>個別事業 内 容</p>	<p>高知県では、民間企業と連携した結婚支援の取組として、平成21年度から「こうち出会い応援団」、平成26年度からは「高知出会いと結婚応援団」として募り、応援団に結婚支援のイベント等を実施していただいていたが、平成28年度からは、新たに「子育て」を加え、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」を創設し、企業内において独身者に対する結婚支援や子育て支援、ワークライフバランスの推進に向けた取組を、県の施策に合わせた月ごとの活動テーマにより各組織内の状況に応じて実施していただいている。応援団の取組に対しては、高知県少子化対策県民会議や「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」が連携し、情報提供などを通じて活動を支援している。</p> <p>先駆性 本個別事業では、各企業・団体等に結婚支援サポーターを配置して、企業等間における独身者の交流を促進することとしているが、各企業・団体等にはこの応援団に登録いただいている団体はもちろん、その他の企業・団体等にも応援団に登録頂いたうえで活動していただくこととしている。つまり、これらの企業等においては、結婚支援だけでなく、ライフステージに応じた様々な取組も行っていただくことが可能となる。</p> <p>このように、本個別事業では、各企業の実情に応じて、きめ細やかな結婚支援の取組を行うとともに、ライフステージに応じた他の取組との有機的連携の下、切れ目ない総合的な支援が期待できるという点で、先駆性がある。</p>